

Ⅱ 産業間の連携戦略

起業や新事業展開の促進

起業や新事業展開の促進の取り組みの概要

① 産業振興計画のこれまでの取り組みによる成果と課題

これまで「土佐まるごとビジネスアカデミー（土佐MBA）」による産業人材の育成や「こうちスタートアップパーク（KSP）」による起業の促進、産学官民連携及び企業間連携による新事業展開の促進を進めてきました。

本県の持続的な経済成長を図るためには、新事業やイノベーションの創出が不可欠となることから、起業や新事業展開につながる産業人材の育成を後押しする必要があります。

また、KSPによる起業のさらなる促進や、起業家の発掘・成長支援に取り組むとともに、産学官民連携及び企業間の連携を促進することで、県内企業の新事業展開をサポートしていく必要があります。

② 第5期計画の取り組み

産業の創出や若者の雇用拡大につなげることを目的として、産学官民連携による起業や新事業展開の促進に取り組んでいきます。

柱1 起業・新事業展開に向けた総合的なサポート

・産業人材の育成

土佐MBAでは、経営を体系的に学べ、受講者の異業種交流やネットワーク構築につながる対面の連続講座を拡充します。

また、アイデアを創発し、具体的なビジネスに落とし込む手法等を学ぶ「イノベーションコース」やアイデアの磨き上げ方法や事業計画の策定等について学べる起業希望者向けの「スタートアップコース」を新設します。

さらに、女性や中山間地域の方が受講しやすい講座を拡充するなどし、県の政策と連動した学びの場へとバージョンアップを行います。

・起業の促進

起業支援のプラットフォームであるKSPにおいて「気運醸成」から「起業支援」、そして「成長支援」まで切れ目なく実施することで県内での起業を促進します。

特に、地域で活動する団体と連携した相談体制の構築や地域資源等を活用した起業をサポートする連続プログラムの実施、補助制度の拡充により中山間地域での起業を支援します。

さらに、民間支援団体等と連携し、起業家への伴走支援を実施することで、その成長を後押しします。

・イノベーションの促進

イノベーションの拠点として設置している、産学官民連携センター「ココプラ」を核とした、企業と高等教育機関、もしくは企業同士の交流や連携をさらに促進します。

また、ココプラ内に新たに産学官民連携推進アドバイザーを設置し、アイデアの創発からマッチング、さらには事業化まで一貫した伴走支援を行うことで、県内企業の新事業展開を支援します。

さらに、次世代産業創造プロジェクトである「ヘルスケアイノベーションプロジェクト」や「アニメプロジェクト」を推進し、イノベーションの創出を図ります。

《連携テーマ》 起業や新事業展開の促進 ～産学官民連携による新たな挑戦が行われる環境づくり～

目指す姿

起業や新事業展開の促進による新たな産業の創出や若者の雇用拡大

分野を代表する目標

産学官民連携による起業・新事業展開件数 (R2～R5累計) : 149件 ⇒ 4年後(R6～R9累計) : 200件

戦略の柱 1 起業・新事業展開に向けた総合的なサポート

背景

- 1 本県の持続的な経済成長を図るためには、地産外商の取組に加え、**新事業やイノベーションの創出が不可欠**であり、これらを担う**産業人材の育成も重要**
- 2 国においても2022年11月に「スタートアップ5か年計画」を策定し、**スタートアップへの支援を強力に推進**
- 3 リソースに限りのある県内企業が新事業創出やイノベーションに取り組むためには、**産学官民及び企業間の連携が重要**

⇒ **産学官民が連携して
起業や新事業展開をさらに促進**

取組概要

1 産業人材の育成

「土佐MBA」によるビジネスに関する「学びの場」の提供

- 拡** (1) 経営を体系的に学べ、異業種交流やネットワーク構築につながる対面の連続講座を拡充（「土佐MBAゼミナール」の講座数を増設）
- (2) 県の政策と連動した学びの場の提供
- 拡** ① 女性や中山間地域の方が受講しやすい講座を拡充（「土佐MBAゼミナール」のオンライン化）
- 新** ② アイデアの磨き上げ方法や事業計画の策定等について学べる起業希望者向けの「スタートアップコース」を開設
- 新** ③ アイデアを創発し、具体的なビジネスプランに落とし込む手法等を学ぶ講座を拡充し、「イノベーションコース」として開設

土佐まるごとビジネスアカデミー（土佐MBA）

ビジネスの基礎知識から応用・実践力まで身につけられる「学びの場」

主なターゲット	講座
経営やビジネスに必要な知識を身につけたい方	土佐経営塾 土佐MBAゼミナール（ベーシック） 拡 土佐MBAゼミナール（アドバンス）
女性 生業を作りたい女性 ネットワークを構築したい女性	女性のためのビジネス講座 トップレクチャー（女性経営者編）
中山間 中山間地域で事業を行いたい方	拡 土佐MBAゼミナール（オンライン） 新 スタートアップコース（地域課題）
起業・新事業 起業や新しいことに挑戦したい方	新 スタートアップコース 新 イノベーションコース

2 起業の促進

起業にチャレンジする気運を醸成し、県内全域での起業の支援や起業家のスケールアップを促進

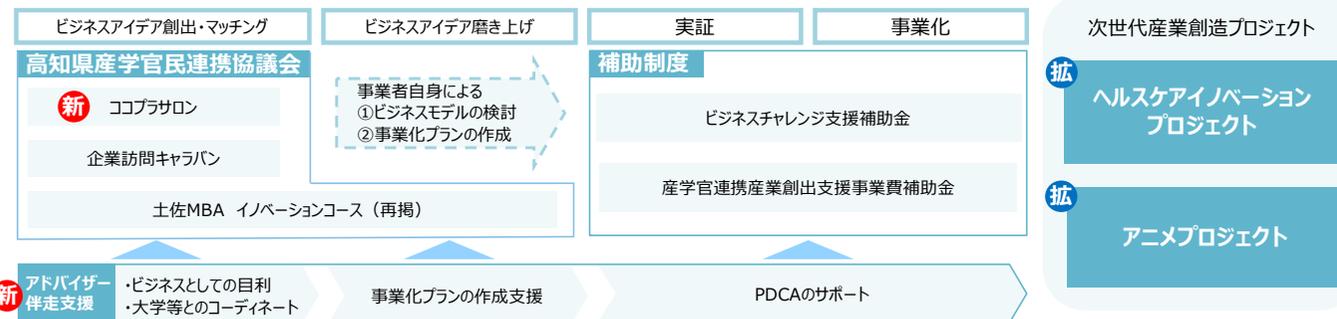
- 拡 新** (1) 中長期的に起業家人材を育成するため、学生向けのプログラムや親世代に起業への理解を深めてもらうための広報の実施
- 新** (2) 中山間地域での起業を後押しするため、相談体制やプログラム、補助制度等を新設
- 拡** (3) 民間支援団体等と連携し、スタートアップを目指す起業家への伴走支援を実施することで、その成長を後押し（R6.3.22協定締結）



3 イノベーションの促進

産学官民及び企業間の連携によるイノベーションの促進や県内企業の新事業展開のサポート

- 新** (1) 「コブラを核とした交流機会の創出」及び「産学官民連携推進アドバイザーの設置」により、アイデアの創発からマッチング、事業化まで一貫して伴走支援
- 拡** (2) 次世代産業創造プロジェクト（ヘルスケアイノベーションプロジェクト、アニメプロジェクト）のさらなる推進



各産業分野で掲げる目標一覧

◆分野全体の目標

産学官民連携による起業・新事業展開件数
 出発点(R2~R4):105件 ⇒ 4年後(R6~R9累計)の目標:200件
 (第4期計画目標(R2~R5):200件)

第5期計画 各産業分野の 取り組みの柱	戦略の種類	第5期計画 戦略目標	新規・継続の別	出発点	第4期計画 R5目標値	4年後(R9) 目標値	重点施策 該当
1 起業・新事業展開 に向けた総合的なサ ポート	5 人材起点型	土佐MBA(連続講座)の受講を通じた起業・新事業展開件数	新規	-	-	12件 (R6~R9)	
	5 人材起点型	こうちスタートアップパーク(KSP)を通じた起業件数	継続	91件 (R2~R4)	140件 (R2~R5)	180件 (R6~R9)	○
	1 構造転換型	県産学官民連携センター(ココプラ)のプラットフォーム機能及び支援を通じた起業・新事業展開件数	継続	14件 (R2~R4)	18件 (R2~R5)	36件 (R6~R9)	

分野	《連携テーマ》起業や新事業展開の促進
各産業分野の取り組みの柱	起業・新事業展開に向けた総合的なサポート

No.	戦略目標	出発点	直近値	4年後 目標 (R9)	これまでの取り組みと成果	課題	取り組み内容 (R6～R9)
1	土佐MBA(連続講座)の受講を通じた起業・新事業展開件数 【モニタリング方法】 ・セミナーの受講者に対し、メール・電話により随時確認	-	-	12件 (R6～R9)	1 産学官民連携による産業人材育成プログラム「土佐まるごとビジネスアカデミー(土佐MBA)」の実施 ・社会構造の変化に合わせて、民間オンライン講座を導入 ・知識習得を中心とした座学はオンライン講座に集約し、学びを実践に結びつけるための実践的な講座は対面で実施 ⇒ 延べ受講者数: 45,089人(H24～R5) ⇒ 学んだ知識やスキルを自身の事業へ活用しており、企業の業績向上や職場の活性化にも一定貢献 ⇒ 受講者の異業種交流・ネットワークづくりに貢献	1 産学官民連携による産業人材育成プログラム「土佐まるごとビジネスアカデミー(土佐MBA)」の実施 ・民間のオンライン講座は、コロナを契機に広く一般に普及したため、県が一部費用を負担して実施する必要性が低下 ・県内では、対面型の「経営に必要とされる知識を体系的に学べる連続講座」や「異業種交流やネットワーク構築につながる講座」へのニーズが高いが、講座数が不足 ・イノベーションの創出、スタートアップの促進、中山間地域の再興、女性の活躍等、県の政策を担う人材育成の取り組みが必要	1 産学官民連携による産業人材育成プログラム「土佐まるごとビジネスアカデミー(土佐MBA)」の実施 ・経営を体系的に学べ、受講者の異業種交流やネットワーク構築につながる対面の連続講座を実施【R6～R9】 ・アイデアを創発し、具体的なビジネスに落とし込む手法等を学ぶ「イノベーションコース」を創設【R6～R9】 ・アイデアの磨き上げ方法や事業計画の策定等について学べる起業希望者向けの「スタートアップコース」を創設【R6～R9】 ・中山間地域の若者や女性の方が受講しやすい講座を拡充【R6～R9】 ⇒ 別図<起01>参照(P135)
2	こうちスタートアップパーク(KSP)を通じた起業件数 【モニタリング方法】 ・起業相談やセミナー・プログラムの利用者については、起業フェーズに応じて、メール・電話により随時確認 ・補助金採択者については、補助事業実績報告により確認	91件 (R2～R4)	128件 (R2～R5)	180件 (R6～R9)	1 起業気運の醸成 ・小中学生向け起業体験プログラムの実施 ・小中高校を対象とした起業家講演の実施 2 起業に向けた準備段階から事業プラン磨き上げまでの一貫サポート ・専門家等による起業相談や段階に応じたプログラムの実施 ⇒ KSP会員数: 1,371人(R5) ⇒ KSPを通じた起業件数: 128件(R2～R5) 3 スタートアップを目指す起業家の発掘・成長支援 ・ビジネスプランコンテスト及びコンテストに向けたプログラムの実施	1 起業気運の醸成 ・「起業」への関心は一定高まっているものの、「起業」を将来の選択肢として検討する学生は少数 ・起業家との交流や起業体験等、起業を身近に感じ、起業への理解を深めるための取り組みの強化が必要 2 起業に向けた準備段階から事業プラン磨き上げまでの一貫サポート ・KSPを通じた起業件数は増加傾向にあるものの、規模の小さいビジネスが多数 ・中山間地域活性化や人口減少対策等の観点では、規模の小さい起業も重要 3 スタートアップを目指す起業家の発掘・成長支援 ・スタートアップを目指す起業家や起業にチャレンジする大学生等のさらなる掘り起こし、成長支援の場が必要	1 中長期的な起業家人材の育成 ・小中高校生の起業マインドを醸成する機会の抜本強化(起業体験ワークショップや交流会の回数拡大)【R6～R9】 ・私立も含めた県内高等学校における起業家教育の導入を推進【R6～R9】 ・親世代に起業への理解を深めてもらうため、広報番組を作成・周知【R6～R9】 2 県内全域での起業の促進 ・中山間地域での起業を後押しするため、相談体制やプログラム、補助制度等を新設【R6～R9】 3 スタートアップを目指す起業家の発掘・成長支援 ・民間支援団体等と連携し、起業家への伴走支援を実施することで、その成長を後押し【R6～R9】 ⇒ 別図<起01>参照(P135)
3	県産学官民連携センター(コプラ)のプラットフォーム機能及び支援を通じた起業・新事業展開件数 【モニタリング方法】 ・各高等教育機関のコーディネータへの調査(1回/年 2月予定) ・補助事業者からの報告(1回/年 12月)	14件 (R2～R4)	18件 (R2～R5)	36件 (R6～R9)	1 産学官民連携のプラットフォーム機能を生かした産業振興の推進 ・県内7つの高等教育機関から選出された教職員で構成する「産学官民連携コーディネータ」と連携して様々な相談に対応 ・「シーズ・研究内容紹介」、「経営者トーク」、「企業訪問キャラバン」、「似業種交流会」等による産学のマッチングや交流の促進 ⇒ ビジネスチャレンジサポートによる事業化件数: 10件(R2～R5) ⇒ 産学官民連携産業創出支援事業費補助金による事業化件数: 8件(R2～R5) 2 次世代産業創造プロジェクトの実施による県外企業の県内への新規立地及び県内企業の新事業創出 ・ヘルスケアイノベーションプロジェクト ・アニメプロジェクト 県内でアニメ制作スキルを学べる環境整備及びアニメ企業の誘致に向けた立地支援の強化が必要	1 産学官民連携のプラットフォーム機能を生かした産業振興の推進 ・相談件数の減少や講座・セミナーの参加者の伸び悩みが深刻であり、産学官民連携の取組のきっかけづくりの見直しが必要 ・事業化件数が伸び悩んでおり、マッチング機能やコーディネータ機能の強化が必要 2 次世代産業創造プロジェクトの実施による県外企業の県内への新規立地及び県内企業の新事業創出 ・ヘルスケアイノベーションプロジェクト ・アニメプロジェクト 県内でアニメ制作スキルを学べる環境整備及びアニメ企業の誘致に向けた立地支援の強化が必要	1 産学官民連携のプラットフォーム機能を生かした産業振興の推進 ・産学官民連携センター「コプラ」を核とした交流機会の創出、企業と高等教育機関、もしくは企業同士の交流や連携をさらに促進【R6～R9】 ・新たに産学官民連携推進アドバイザーを設置し、アイデアの掘り起こしからマッチング、さらには事業化まで、一貫した伴走支援を実施【R6～R9】 2 次世代産業創造プロジェクトの実施による県外企業の県内への新規立地及び県内企業の新事業創出(ヘルスケアイノベーションプロジェクト) ・民間団体による伴走支援体制を構築し、各プロジェクトの伴走支援を強化【R6～R9】 ・ヘルステック企業と県内市町村等をマッチングする交流会の開催【R6～R7】 ・ヘルステック企業と県内市町村等が構成されるコンソーシアムが実施する実証実験の実施にかかる経費を補助【R6～R9】(アニメプロジェクト) ・アニメクリエイターに必要な専門スキルの習得を目的として、県内の専門学校が実施する教育プログラムへの支援制度を創設【R6～R7】 ・県内の若者に、アニメクリエイターの仕事内容や魅力を伝え、将来の仕事として興味喚起を行う講演会やアニメ制作体験講座を開催【R6～R9】 ・既存のIT・コンテンツ企業に対する補助制度を刷新し、アニメ制作企業の誘致に特化した補助制度を創設【R6～R9】

目的

起業を身近に感じ、チャレンジする気運を醸成するとともに、スケールアップを目指す起業家の掘り起こしと成長をサポートし、起業を促進することで地域の活性化や雇用の創出を図る。

現状・課題

第4期計画目標：こうちスタートアップパーク（KSP）を通じた起業件数 **140件（年間35件）**

＜こうちスタートアップパークを通じた起業件数＞



1 起業気運の醸成

- ①「起業」への関心は一定高まっているものの、「起業」を将来の選択肢として検討する学生は少数
- ②起業家との交流や起業体験等、起業を身近に感じ、起業への理解を深めるための取り組みの強化が必要

2 起業に向けた準備段階から事業プラン磨き上げまでの一貫サポート

- ①KSPを通じた起業件数は増加傾向にあるものの、規模の小さいビジネスが多数
- ②中山間地域活性化や人口減少対策等の観点では、規模の小さい起業も重要

3 スタートアップを目指す起業家の発掘・成長支援

- ①スタートアップを目指す起業家や起業にチャレンジする大学生等のさらなる掘り起こし、成長支援の場が必要

5期計画（令和9年度）の目指す姿

目標 ◆KSPを通じた起業件数：45件 / 年

- ①中山間地域での支援体制構築により、地域の活性化を図る
- ②スケールアップを目指す起業家を生み出し雇用を創出する

令和6年度の強化ポイント

1 中長期的な起業家人材の育成

- ①小中高校生の起業マインドを醸成する機会の抜本強化（起業体験ワークショップや交流会の回数拡大）
- ②私立も含めた県内高等学校における起業家教育の導入を推進
- ③親世代に起業への理解を深めてもらうため、広報番組を作成・周知

2 県内全域での起業の促進

- ①中山間地域での起業を後押しするため、相談体制やプログラム、補助制度等を新設

3 スタートアップを目指す起業家の発掘・成長支援

- ①民間支援団体等と連携し、起業家への伴走支援を実施することで、その成長を後押し（R6.3.22 協定締結）

こうちスタートアップパークによる一貫通貫した起業支援の取り組み

こうちスタートアップパーク（KSP）

1 中長期的な起業家人材の育成

学生向けプログラム

小中	<ul style="list-style-type: none"> 起業体験ワークショップ 県出身・在住起業家派遣
高校	<ul style="list-style-type: none"> 学校で起業家教育を実施
大学	<ul style="list-style-type: none"> 伴走型プログラム

起業への理解・周知

- 親世代を対象とした広報番組 など

